

《公立公的病院等再編・統合阻止》

2020年1月10日

# 424 愛知共同行動 通信

NO. 1(案)

発行：「424 愛知共同行動」事務局  
愛知社保協地域医療委員会(文責:長尾)

## 1月9日「公立公的病院等再編・統合阻止愛知共同行動」(略称)「424 愛知共同行動」を発足

(構成団体) 愛労連・愛知社保協・自治労連愛知県本部・愛知県医労連・愛知県国公・全医労愛知地区協

「424 再編対象病院リスト」を受けて、愛知社保協中心に県への要請・懇談や、12/7「地域医療学習会」などに取組んできましたが、中央6団体が「共同行動」を結成して全国での運動を強化している中で、愛知県においても中央6団体の構成で「愛知共同行動」を結成し、さらなる運動の拡充強化を図ることとしました。

当面する運動内容は

- ①国へ提出する「地域医療の拡充を求める署名」の推進
- ②「名指しリスト」病院との訪問・懇談の実施
- ③名指し病院のある自治体への要請・懇談
- ④名指し病院のある自治体の議会への陳情で「意見書」採択
- ⑤県及び各地域医療構想区域「推進委員会」の傍聴
- ⑥県下の地域医療守る運動への支援と、交流の場

運動は、共同行動6団体の合議により、事務局を愛知社保協地域医療委員会が担い、事務局長は全医労愛知地区協書記長一長尾実が行う。

1月下旬に「名指し病院」への訪問・懇談を行う。2月中に該当自治体の議会へ「陳情書」を提出し3月議会で「意見書」採択を要請する。また、該当自治体への要請・懇談も行う。

### <愛知県地域医療構想推進委員会>第2回—1月10日開催される!

11 構想区域の代表者ら集まり、「再検証」対応問題などの意思統一を行う



第2回「愛知県地域医療構想推進委員会」が10日開催され、各構想区域の推進委員会メンバーと県担当部局から60名余が参加しました。

(傍聴10名含む—長尾も参加しました。)

\*検討された内容の要点は以下の通り

- ①「再検証」要請の『通知』はまだ届いていない。(今月中の予定)
- ②「民間データ」も、まだ県に届いていない。県としては、届いた内容を精査したうえで、公表するかどうか検討したい。
- ③「再検証」内容の提出期限とされる、3月末、9月末の期限は、国が弾力的に見直すとしているので、こだわらなくても良いのでは、それも含めて「通知」が届かないと確かなことは言えない。
- ④当初、3月までに報告とされているのは、「現状のまま」という選択肢のケースであり、それ以外の見直しは、9月までに明確にすればよい。(現状のまま—評価対象とされた2017年7月の状況のままということ)
- ⑤「再検証」リストの挙がっている6つの構想区域での検討方向—いずれの区域も、病院も、「現状のまま」ではなく、見直し(すでに見直されているところも含めて)が前提で検討中である。・・・主に「急性期」か

ら、ダウンサイジングや、「回復期・慢性期」への機能転換の方向。～ただし、構想区域内での役割分担の調整が必要なケースもある。

⑥「民間データ」の詳細が明らかにされないと、診療実績や隣接等の評価・検証ができない。とりわけ、隣接（車で20分以内）の比較データの詳細を明らかにしてほしい。

## ☆東海北陸ブロック

**富山県・石川県・岐阜県・静岡県が**

**12月議会で『意見書』採択が明らかに！**

\* 愛知県・三重県では意見書は採択されていません。

\* 保守系議員の発議で、「意見書」の趣旨は、公立・公的医療機関の役割を押さえ、地域医療の確保を求めるも、①慎重審議、②結論の時期を柔軟に、③財政措置含む支援策の強化等が盛り込まれ、「424の名指し撤回」を求める意見書ではありません！ しかし、世論と運動の中で、地域医療を守れの声として、国へ「意見」を出さざるを得ない状況となっている結果ともいえます！ よって、意見書は議会の「全会一致」採択です！

